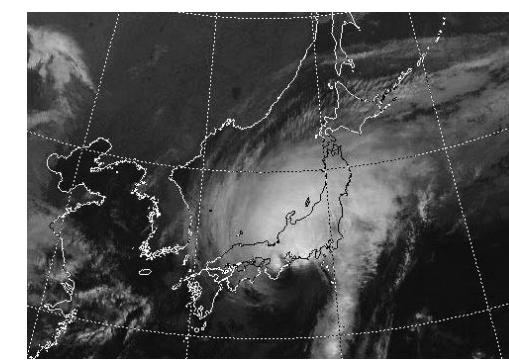




早朝に襲った猛烈な風の影響で、国道や県道、町道などで倒木や路肩決壊が多発した。①国道362号瀬平～久保尾間の倒木被害。この下では林道西又線でも大きな被害が発生した ②文沢・吉町河内地区の林道の倒木。この路線は生活道路として使われる重要な道。復旧するまでの半日間、奥の集落は孤立 ③久野脇地区に向かう路線では路肩の決壊も発生。その様子を道行く人が呆然とながめていた

ここ10年間で最大規模の台風18号が日本列島を直撃九州や四国、本州を暴風域に巻き込み各地に大きな被害を残しながら北へ抜けたこの18号は本町にも深いつめ跡を残した家屋やライフラインに被害が発生特に、道路におよぼす影響が大きかった倒木や路肩決壊で通行不能となる箇所が多発災害時、孤立集落発生の可能性を浮き彫りにした

猛り狂う 大型台風の脅威



列島を覆い尽くした大型台風18号・8日午前3時

18号の概要

非常に強い勢力を持った台風18号は10月8日午前5時過ぎ、強い勢力を維持したまま愛知県知多半島付近に上陸し、東海地方から関東甲信地方を中心に激しい雨を降らせた。降り始めの5日午前6時から8日12時までの総降水量は、東海地方や関東甲信地方の各地で200ミリを超え、三重県松阪市粥見で300ミリを記録した。また8日には、三重県伊賀市上野で155・5ミリの最大24時間降水量が観測されている。この18号の影響により人的被害も発生している。兵庫県の1人、和歌山県で1人、埼玉県の3人、宮城県で1人の命が失われた。また負傷者の数は127人にのぼった。

県内各地で被害が続出

18号の被害は県内各地でも続出した。近隣の島田市では、自宅屋根を点検していた男性が足を踏み外して落下、軽傷を負った。そのほかにも倒木や電柱が倒れる、作業小屋の屋根が飛ぶといった被害も発生している。倒木が道路をふさぎ、通行止めになる箇所もあった。停電による被害も大きく、島田市内で3、100戸が停電した。

本町では倒木被害多く

町内では電線がショートし、300戸が停電した。早朝に吹いた激しい風により、倒木が多く発生したためだ。このほかにも農機具小屋が破損する、住宅の屋根瓦が落ちるなどの被害も発生している。大井川鉄道は計31本が運休、町営バスなど公共交通機関も運行を見合わせた。小中学校などでは臨時休校の処置を執った。

なかでも道路への被害がひどかった。国道、県道、町道、林道など、倒木が道路をふさぎ、通行不能になる被害が多

自分の地区が孤立した場合、何をすべきか考えてみてほしい

今回の台風では、倒木が道路をふさいだり、路肩が一部損壊したりして車両が通行できない箇所が数カ所発生し、復旧を急いでいます。こういった大規模な災害では、道路が寸断され、孤立するかもしれない集落が島田土木事務所管内には多くあります。道路が2カ所（主要道路と迂回路）寸断されるだけで、完全に孤立する場所があるというのは、とても恐ろしいことです。土木事務所では、道路の整備など全力で進めていますが、財源には限りがあります。近年では台風などの豪雨も多く、すべての要望にお応えするのは難しい状況です。大災害が発生した場合、ご自分が住んでいる地域ではどんな事態が起こりうるのか、皆さんも考えてもらえたらと思います。



島田土木事務所川根支所 井倉基 主任

発。また一部の道路では路肩が決壊し、バリケードが張り巡らされる箇所もあった。国道362号瀬平～久保尾間の現場で復旧に当たっていた建設業者の人に話を聞いた。「この路線は結構風が巻く（小規模の竜巻が発生する）ところだと地主さんも言っています。このため大雨や風による倒木が多い場所です。今回も太い広葉樹が根元からぼつきり折られ、道を横断するように倒れました。かなり強く風が吹いたんでしょう」。その大木は、電線を巻き込んで道をふさいでいた。その路肩では、ガードレールの根元の土砂が崩れ、支柱がむき出しになっていた。たたきつけるような雨や荒れ狂う風。大型台風のすさまじさを見せつけられ、呆然とその場に立ち尽くした。

大地震の発生、大型台風の到来。そのとき町内各所では道路網が寸断され、ライフラインも大打撃を受ける。もしかしたら、いくつもの集落が孤立してしまうかもしれない。決して飛躍した考えではないと、眼前で横たわる大木が物語っていた。